

令和2年度 宇都宮市役所環境マネジメントシステム（もったいないEMS）
監査報告

令和2年度における「もったいないEMS」の取組について、職員及び第三者による監査結果を報告するもの。

1 内部監査

(1) 監査目的

各所属において、もったいないEMSが適正に運用され、システムに適合した取組が実施されていることを職員により確認するもの。

(2) 実施期間

令和2年8月5日 ～ 令和2年10月19日

(3) 監査内容

・システムへの適合性（マニュアルに基づく環境目標、法令順守等の確認）

(4) 監査員

各部局総務担当等

(5) 監査対象所属

もったいないEMSの適用範囲となる組織、施設のうち、事務局から指定を受けた30所属

経営管理課	人事課	情報政策課
広報広聴課	用地課	税制課
自治振興課	横川地区市民センター	雀宮地区市民センター
中央市民活動センター	男女共同参画課	高齢福祉課
保育課	泉が丘保育園	環境政策課
ごみ減量課	農業企画課	農林生産流通課
検査室	建築保全課	建築課
住宅課	公園管理課	河内分署
経営企画課	下水道建設課	学校教育課
選挙管理委員会事務局	監査員事務局	農業委員会事務局

(6) 監査結果

指摘 0件、改善提案 0件、適切 28件、優良 2件

➤全ての所属が適正に運用されていた。また、良好な取組が確認された。

【監査報告書からの特記事項】

- ・ 良好な取組

内容	具体的な取組
環境管理の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理担当が定期的に取り組み状況を確認するなど、所属内のリーダーとして積極的に行動している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間不休の特殊な勤務形態であることから、自宅と同じ感覚でごみの分別の徹底や省エネルギーの取組（照明をこまめに消す等）を心がけるよう各職員に働きかけている。
用紙類の使用量の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みの印刷用紙の裏面再利用や、使用済みポスター・チラシのメモ用紙への再利用をしている。（5件）
	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末やパソコンを活用し、用紙削減を図るなど会議のレスペーパー化を進めている。（4件）
	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから「レスペーパー」や「電子決裁比率向上」など環境に配慮した行動をしている。（3件）
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の電子化を図り、メール等で情報共有をしている。（2件）
	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー機に削減目標や2UP・4UP印刷への協力について掲示している。（2件）
	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷の徹底、2UP・4UP印刷による用紙削減を図っている。（2件）
ごみ排出量の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・「もったいないばあさん」の絵本を活用し、そのキャラクターを用いて園児の興味を引きながら指導している。 ・工作の後片付けの際などに園児にもごみの分別をさせて、意識の醸成を図っている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対し、定期的にごみの分別を徹底させるためのメールを配信している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方・分別についての案内や説明をごみ箱や付近に表示するとともに、誤った出し方をしたごみのサンプルを掲示し注意喚起を行っている。 ・メールや表示の内容については、注意が必要なものや間違いやすいものを具体的に（何を、どのようにして、どこに捨てるかなど）記載しており、大変分かり易く工夫されている。
エネルギー使用の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・中央ホール照明のこまめな消灯など節電に取り組んでいる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・執務スペースのエアコン送風口にパネルを設置することで冷気を分散し、エアコンを効率的に使用するよう工夫している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の効率を上げるため、ブラインドを活用している。 ・所属員に対し、離席時はPCの電源を切るよう周知している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・上下3階以内のフロア移動の階段利用を課内で徹底している。

2 外部監査

もったいないEMSが適切に運用され、かつ、環境マネジメントが効果的に機能していることを第三者により確認し、対外的に保証するもの。また、改善に向けた提案を受けるもの。

【各部局への監査】

(1) 実施期間

令和2年12月8日～令和2年12月25日

(2) 主な監査内容

- ・システムへの適合性
- ・取組評価、提案

(3) 監査員

宇都宮大学 地域デザイン科学部 学生

(4) 監査対象所属

もったいないEMSの適用範囲となる組織、施設のうち、事務局から指定を受けた10所属

地域政策室	岡本事務所	竹林保育園
東横田清掃工場	都市基盤保全センター	下水道管理課
今市浄水場	生涯学習課	南図書館
冒険活動センター		

(5) 監査結果

【適合性】

指摘事項 0件, 改善事項 2件

- ・ もったいないEMSのねらいの理解が少し不十分であった。
- ・ 冷蔵庫を他課へ引き渡し後、適切な処分がされているかなど、その後の取扱について確認できなかった。

【取組評価・提案事項】

(各所属における取組評価)

- ・ 期限の過ぎたチラシをメモ用紙などに再利用していた。
- ・ 分類の効率化や整理整頓により、多種の危険物の取扱の安全性が高められていた。
- ・ 裏紙を使いやすいように切り分けメモ用紙としていた。
- ・ 毎月1日を「もったいないの日」と定め、前月の振り返りで出た課題に基づき当月の目標を定め発表し取り組んでいた。
- ・ 毎月一度「スイッチオフ day」を設け、「電気のもったいない」への意識付けを行っていた。
- ・ ゴミ箱の蓋に、分別を依頼する掲示が貼られていた。
- ・ 人工芝の再利用がされていた。
- ・ イベントで配布するチラシやパンフレットの印刷枚数の適正化が図られていた。

- ・ レスペーパー、ごみの分別への取組が確認できた。
- ・ 小規模な業務室により、エアコンの消費電力の軽減が期待できた。

(提案事項 (環境行動を誘発するアイデア))

- ・ 中身の見えるごみ箱を利用すると、分別の方法に迷わず、安心して分別することができる。
- ・ ごみ捨て場に目の写真や顔の写真を貼っておくと、監視されている気になり、一般に悪いことをしようとする動機を低減させることができる。
- ・ 電気消費量、ごみ量、紙使用量等の推移をグラフ化して、消費行動の発生する場所（スイッチ、売店、自席等）に掲示すると、消費行動の発生可能性を低減することが期待できる。
- ・ EMS 実施の効果を具体的に例示すると、自分の行動のフィードバックを疑似的に得られ、行動の持続につながることを期待できる。
- ・ 類似する部署の使用量や目標量を比較し競わせると、ゲーム感覚で EMS に気軽に取り組むことができる。
- ・ 印刷ボタンを押すと、「本当に印刷しますか？」というポップアップが20回など何度も表示されることで、印刷する必要性の低い書類を印刷するという動機を軽減させることができる。

【事務局への監査】

(1) 実施日

令和3年1月19日(火)

(2) 主な監査内容

もったいないEMS全体の運用状況を文書の確認や聞き取りにより監査

(3) 監査員

NPO法人栃木県環境カウンセラー協会 監査員2名

(4) 監査対象

もったいないEMS事務局(環境政策課)

(5) 監査結果

指摘事項 0件, 改善提案 1件, グッドポイント 7件

【監査所見】

改善提案 (1件)	① 適用範囲に本年度新たに運用開始した2施設の記載がないため、明記したほうがよい。
グッドポイント (7件)	① 各種運用手順書は内容が充実しておりよくできている。
	② 職員提案と連携するなど、優良な取組事例の水平展開がされている。
	③ 監査における環境法令の順守評価を、法令の要点をまとめた「監査チェックポイント」の手引きを用いて適切に評価している。
	④ 環境管理担当者を対象としたEMS研修について、内容が充実しており、適切な研修が行われている。

	⑤ 小中学校の環境配慮行動を促す「みやエコスクール認定制度」における、優良な取組事例をポスターにし、各学校に配付し水平展開を図っている。
	⑥ 庁内啓発紙として発行している「もったいないEMS通信」において、下半期に向けた各所属での取組見直しを呼び掛けている。
	⑦ 令和3年度から運用開始を予定している指定管理施設において、環境配慮への取組をモニタリングの際に併せて確認することを検討している。

3 総括評価

(1) 内部監査

- ・ 今年度の内部監査について、「優良」は2件、「適切」は28件であり、「もったいないEMS」のシステムに基づいた環境配慮行動が着実に実行されていることが確認できた。
- ・ 今後も職員一人ひとりが環境配慮意識を持ち、適正な環境管理を行い、各所属においてエネルギー使用量や温室効果ガスの削減につながるような取組が積極的に実施されることを期待する。

(2) 外部監査

【宇都宮大学による所属監査】

- ・ 環境配慮行動の代表的な着目点である紙・ごみ・電気に関して、全ての部署で積極的に取り組もうとする姿勢を引き続き確認することができた。また、一部の部署では他部署では実施されていない独自の取り組みが実施されており、他部署へ展開されていくことを期待する。
- ・ 特筆すべき点として、レスペーパー化への取組、ごみの分別など、EMSへの基本が徹底されていた。裏面利用の事例も複数あった。一方で、押印が必要なため印刷するという文書もまだ多数残っているため、レスペーパー化の実現への考え方にシフトしていくことを期待する。
- ・ 地域のリーダーとして、環境に関しても今後明確に行動していくことを期待する。

【環境カウンセラー協会による事務局監査】

- ・ 今回の監査では、前回の監査以降の環境マネジメントシステムの変化に対応し、適切に運用され、有効に維持されていること、各職場でマネジメントシステムの理解・浸透・改善が進んでいることが確認できた。
- ・ エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減、環境に配慮した行政活動などを確認し、環境目標に掲げた行動計画が適切に運用していることが確認できた。